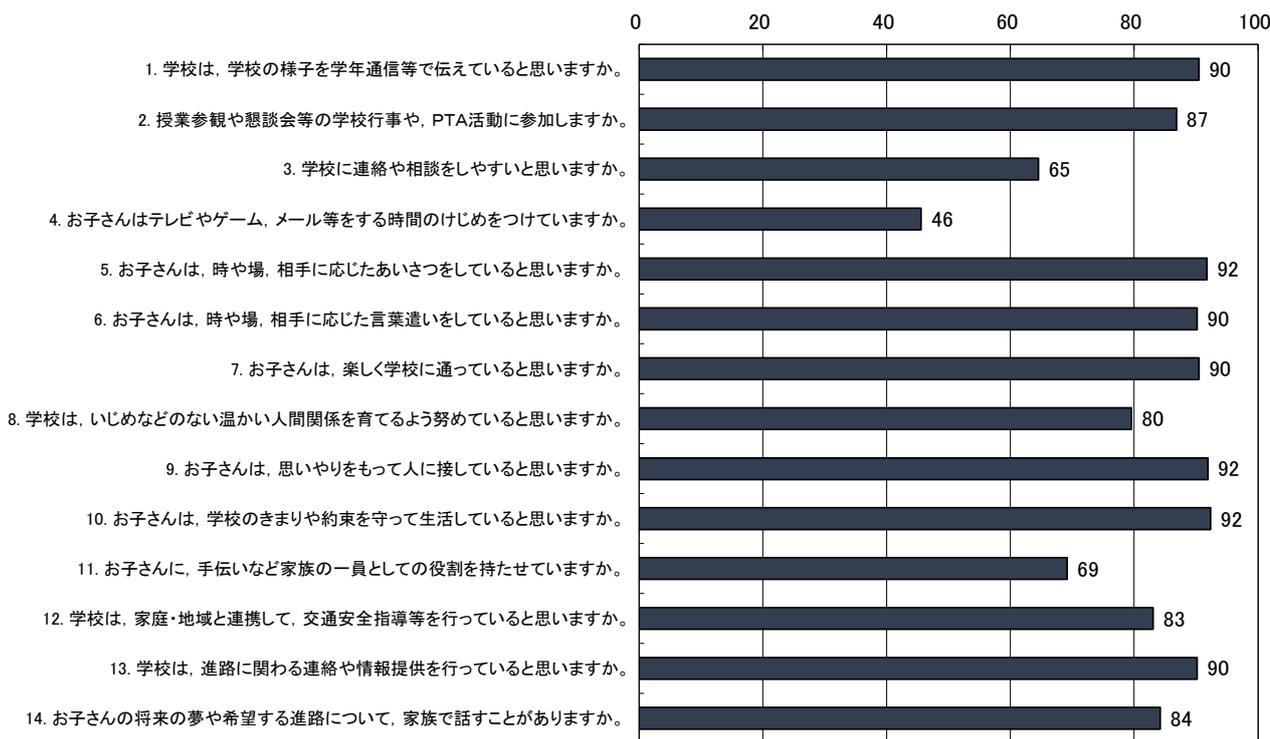




第1回学校評価アンケート結果

7月の第1回学校評価アンケートではご協力ありがとうございました。アンケートの集計結果をお知らせするとともに、本校の課題や取り組みの改善点について検討しましたのでご報告いたします。

保護者アンケート結果



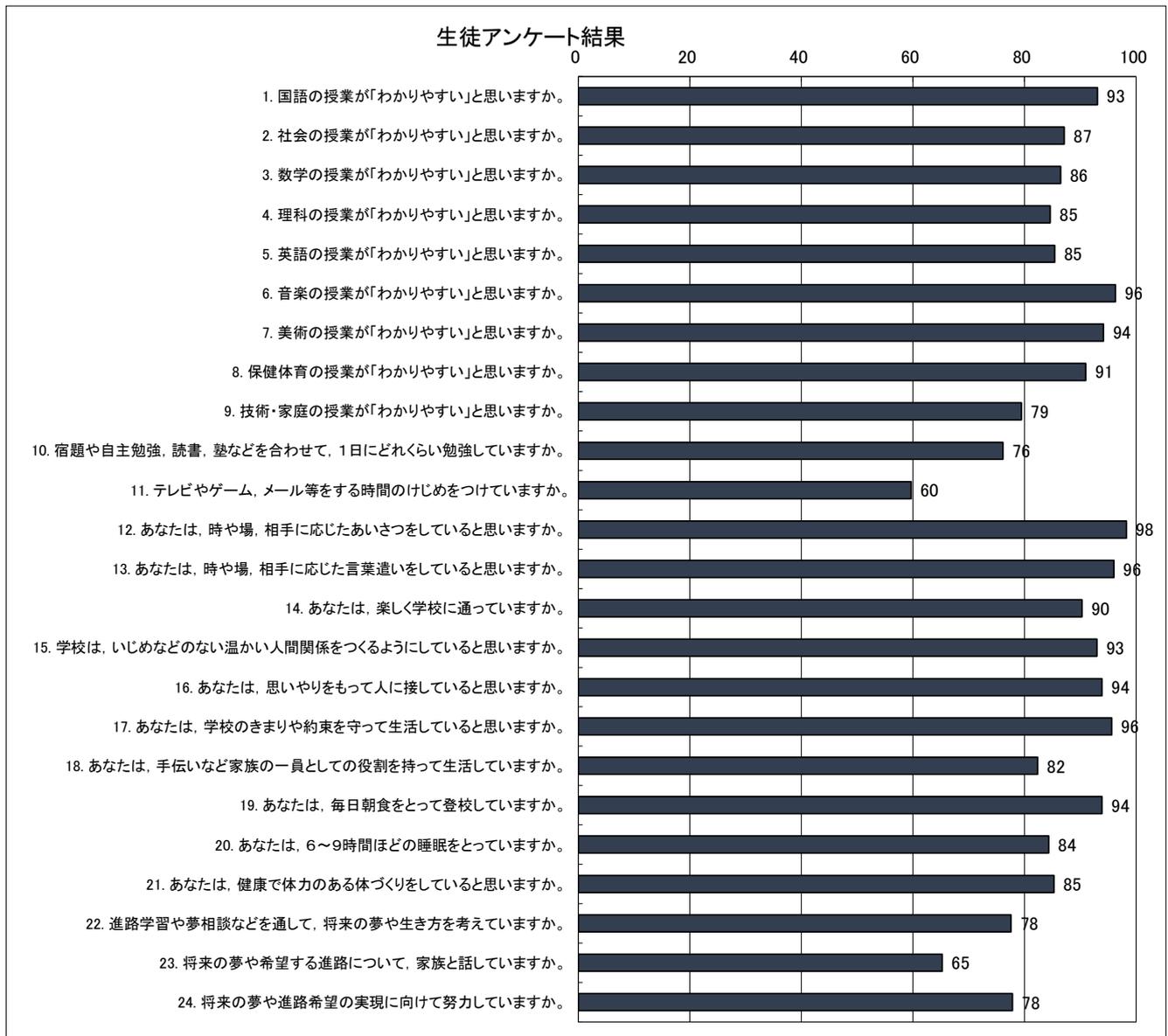
※グラフは、設問ごとにA(そう思う)とB(大体そう思う)を合計した割合となっています。2.学校行事やPTA活動への参加については年2回以上(入学式や卒業式を含む)、14.進路の話し合いについては年2回以上の割合となります。本校では、AとBの合計がおおむね80%以上となることを目標としています。

今年度は、昨年度より設問を6問減らしてアンケートに答えやすくしました。集計結果を昨年度と比較すると、どの設問も1~2ポイントの増減で、大きな変化はありませんでした。目標に達していない3項目について、「学校の具体的な方策」と「家庭へのお願い」を記述しますので、ご協力をお願いします。

学校の具体的な方策

◆連絡や相談がしやすい学校にするために(保護者設問3)

積極的に電話連絡や家庭訪問等を実施して家庭と連絡を取り、丁寧で親身な対応を行うことにより、保護者や生徒との信頼関係を築きます。また、保護者の要望や意見を汲み取って、連絡や相談がしやすいように学校の態勢を改善するとともに、効果的な連絡や対応の仕方を研修します。※この設問については、毎年第1回が低くて第2回で改善する傾向があり、しかも1年生の保護者でこの傾向が顕著です。こうした結果から、学級担任や学年・学校職員、あずま中学校に慣れてくることで、親近感や信頼関係が育まれて、連絡や相談がしやすくなっているのだと考えます。そこで、家庭訪問や三者面談などで直接対面して懇談する機会以外にも、懇談会や保護者会など、学校と家庭が互いに情報を伝え合ったり意見を交流したりする機会や手段も活用して、連絡や相談がしやすい学校にしていこうと努力しています。今回のアンケートの自由記述に、あずま中職員の電話の応対についての意見が1つだけありました。指摘された点については全職員で検討し、改めるべきことは改めていきます。たとえ些細なことでも、連絡や相談をすることに抵抗を感じる部分がありましたら、遠慮なく学校に伝えていただけるとありがたいです。



※グラフは、設問ごとにA(そう思う)とB(大体そう思う)を合計した割合となっています。10.家庭学習の時間については1日1時間以上(塾や読書を含む)、19.朝食については週5日～毎日、23.進路の話合いについては年2回以上の割合となります。

学校の具体的な方策

◆将来の夢や希望を考えられる生徒を育てるために(生徒設問22, 23, 24)

進路学習の系統性を高めて学習活動の充実を図るとともに、将来の夢や希望についての教育相談「夢相談」を実施します。また、将来の夢や希望と普段の生活を結びつけて意識させ、進路学習や三者面談、「夢相談」の機会に個別に指導します。※あずま中の特色ある教育の一つにキャリア教育があります。1年生のうちから未来の自分を想像し、夢を実現させるための努力を考えて取り組むことを支援しています。ご家庭でも、将来の夢や希望する進路について話す機会を日頃から意識して作り、気軽に進路の話ができる親子関係を築いてほしいです。進路の話をもっと家族と話すと生徒が80%以上になることを期待します。

家庭へのお願い

○テレビやゲーム、メール等にけじめをつけさせてください。(保護者設問4, 生徒設問11)

この項目は学校評価に直接関わる内容ではありませんが、基本的な生活習慣という点でとても大切なことです。にもかかわらず過半数の家庭で「けじめをつけていない」と判断されているのは好ましくありません。保護者が46%、生徒が60%なので、生徒より保護者のほうが厳しい見方をしている結果となっています。「親の言うことを聞かなくて困っている」という不満の声が、アンケートから聞こえてくるようです。しかし、けじめのない生活では家庭学習の習慣も身に付きません。結果的に健康に悪い影響を及ぼしたり、携帯電話(スマートフォン)で犯罪に巻き込まれたりする危険性もあります。毎年同じお願いで恐縮ですが、携帯電話(スマートフォン)については、保護者の責任において、約束事を決めて守らせてください。けじめがつけられないのであれば、持たせない、使用させない決断をぜひお願いします。テレビやゲームも同様です。